

「トド管理基本方針の見直しに向けた検討会」議事概要

1. 第1回検討会

(1) 日時及び場所：平成30年11月26日（月）13:30～16:55 農林水産省共用第6会議室

(2) 概要

- ① 事務局から、トド管理基本方針（以下「方針」という。）9.（1）に基づく点検の結果を整理した資料「トド管理基本方針に基づく点検について（案）」（以下「点検資料」という。）が提示され、同案について議論が行われた。
- ② 方針4.（3）の基準（「5年後の再評価で管理目標の水準（注：方針策定時の直近の推定時点の来遊個体数の60%）を下回らないこと」）に関連し、方針策定前後の来遊個体数の比較を行うため、その推定方法について再度検討することとなった。

2. 第2回検討会

(1) 日時及び場所：平成31年2月18日（月）13:30～16:25 水産庁漁政部第2会議室

(2) 概要：

- ① 事務局から、第1回検討会における議論を踏まえて修正された点検資料（修正案）が提示され、同案について議論が行われた。
- ② 第1回検討会での議論を受けて再検討された推定方法に基づく来遊個体数推定値が示され、平成29トド年度までの状況においては、方針4.（3）の基準に合致していることが確認された。
- ③ 第3回検討会において、平成30トド年度のデータを追加して修正した点検資料の最終案及び方針の改正案を検討することとなった。

3. 第3回検討会

(1) 日時及び場所：令和元年7月9日（火）13:30～16:10 水産庁漁政部第2会議室

(2) 概要：

- ① 事務局から、第2回検討会における議論を踏まえて修正された点検資料の最終案及び方針の改正案が提示され、これらについて議論が行われた。
- ② 上記①の結果、点検資料については、一部の記述につき事務局で修正案を作成し、委員に回章して最終化することとなり、方針の改正案については、点検の内容・結果に沿ったものとなっていることが確認された。
- ③ 事務局から、7月中旬に開始するパブリック・コメント手続を経て、8月中旬に方針を改正するとともに点検資料の公表等を行うとのスケジュールが説明された。

注：各回検討会の出席者は別添のとおり。

トド管理基本方針の見直しに向けた検討会出席者

区分	氏名	所属・役職	出席回
委員 (五十音順)	加藤 秀弘 (座長)	国立大学法人東京海洋大学 名誉教授	第1～3回
	北門 利英	国立大学法人東京海洋大学 学術研究院 海洋生物資源学部門 教授	第1回及び第3回
	服部 薫	国立研究開発法人水産研究・教育機構 北海道区水産研究所 資源管理部 高次生産グループ長	第1～3回
	星野 昇	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 水産研究本部 稚内水産試験場 調査研究部 研究部長	第1～3回
	松田 裕之	国立大学法人横浜国立大学 環境情報研究院 自然環境と情報部門 教授	第1～2回
	山村 織生	国立大学法人北海道大学 水産科学研究院 海洋生物資源科学部門 准教授	第1～3回
オブザーバー (五十音順)	飯島 昭仁	北海道水産林務部水産局水産振興課 主幹	第1～3回
	磯野 岳臣	国立研究開発法人水産研究・教育機構 北海道区水産研究所 資源管理部 高次生産グループ 主任研究員	第3回
	井下 泰浩	北海道漁業協同組合連合会 環境部長	第1～2回
	上村 俊彦	北海道漁業協同組合連合会 環境部長	第3回
	木村 紀昭	青森県水産局水産振興課 技師	第1回
	近藤 千尋	環境省自然環境局野生生物課 鳥獣保護管理室	第1～3回
	澤田 篤	青森県農林水産部水産局水産振興課 技師	第3回
	照井 英司	NPO 法人水産業・漁村活性化推進機構 専任指導員	第1～2回
	三上 征己	北海道水産林務部水産局水産振興課 主査	第2～3回
	山内 愛子	公益財団法人世界自然保護基金ジャパン 海洋水産グループ長	第1～3回
	湯浅 龍彦	NPO 法人水産業・漁村活性化推進機構 専任部長	第1回及び第3回
	渡邊 英典	北海道漁業協同組合連合会 東京事務所	第3回
事務局	高瀬 美和子	水産庁増殖推進部 漁場資源課長	第1～2回
	魚谷 敏紀	水産庁増殖推進部漁場資源課 生態系保全室長	第1～3回
	佐藤 岳史	水産庁増殖推進部漁場資源課 課長補佐(環境調査班担当)	第1～3回
	増田 健二	水産庁増殖推進部漁場資源課 漁業監督指導官	第3回
	應本 大輔	水産庁増殖推進部漁場資源課 調査第一係長	第1～2回
	豊嶋 彩香	水産庁増殖推進部漁場資源課 国際係員	第1～3回